

宇都宮市立陽東中学校第3学年生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

全85項目中、肯定的回答が全国平均より、5ポイント以上の差があったものについては以下の通りである。
○肯定的回答が5ポイント以上高い項目は、35項目あった。そのうち10ポイント以上、全国平均より上回っているのは15項目あった。
○「家で学校の復習をしていますか」と「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の本校の肯定的回答割合は全国平均より17ポイント高い。自主学習ノートを、学年始めに購入し、全校体制で取り組み、ノートのチェックを担当が毎日こまめに行っているためと思われる。また、修学旅行の班別行動を増やしたり、修学旅行ノートの作成に組み込み、イラストや写真、体験学習で作成した扇子について記入するなど工夫する生徒が多かったためと思われる。
○「自分にはよいところがあると思いますか」は16ポイント高かった。学校行事や三者懇談で保護者と生徒の親子関係が落ち着いていて、良好な家庭環境で褒められた経験や大切にされていると感じている生徒が多いためと思われる。授業3分前着席がどのクラスも行えたり、授業に熱心に取り組んでいたりと、学校行事を盛り上げることができたりするので賞賛を受ける機会が多いことも関係していると思われる。
○「あなたの学級では、学級会などの時間に友だち同士で話し合っって学級の決まりなどを決めていると思いますか。」と「学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」は14ポイント高かった。本校では「生徒一人一人の学習意欲の向上と言語活動の充実」の研究テーマで授業力向上に取り組んでいる。言語活動を意識して、話し合い活動を積極的に授業に導入することが多くなったため、グルーピングがすぐできる。そのため話し合い活動に十分な時間を取ることができている。このことが肯定的回答の割合が高くなった要因と考えられる。

課題

- 肯定的回答が全国平均より7ポイント下回っている項目「今住んでいる地域の行事に参加しますか」については、地域の行事を中学校で紹介し、ボランティアを募集する活動を継続し、行っていきたい。
- 「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」は、県平均より肯定的回答が9ポイント下回っている。これは、ノートを使用せず、プリントをファイルに綴じている教科担任がいるためである。ノートの効果的な指導について数学科で研修を積んでいきたい。
- 「国語の勉強は好きですか」の肯定的回答は、県平均より10ポイントまた全国平均より6ポイント下回っている。「国語の勉強は大切だと思う」生徒は本校には68, 8%いるが、「国語の授業の内容はよく分かる」生徒は20, 7%に留まっている。国語科の教材研究や授業研究を積み重ねていきたい。